

令和5年度 第6回生坂村ゼロカーボン推進プロジェクト会議録

日 時：令和5年9月25日（月）15時00分

場 所：役場 第2会議室

村長より

（代理：副村長）

- ・調査・設計業務については、株式会社エコロミが受託し、小水力発電や木質バイオマス事業等が動き出している。
- ・事務局サポート業務は合同会社 HiTTiSYO（ヒッターイショ）が受託し、旧窪田商店（上生坂）を借り事務所として窓口業務を行う。代表の斎藤さんは生坂村に転入した。
- ・PPA 事業は、株式会社いくさかてらすから平林建設株式会社に発注することが決定。
- ・今年度、各種事業の設計調査等を進めていくが、それぞれ年度末までに終了させる必要がある。非常にタイトなスケジュールだが、皆様からご尽力ご協力いただき、今年がゼロカーボン元年になるよう進めていきたい。

【報告事項】

○事務局運営サポート業務にかかる公募型プロポーザルの結果について

- ・本日からホットラインを開設しており、合同会社 HiTTiSYO 斎藤氏の携帯に連絡が届くようになっている。窪田商店を10月1日から契約し、窓口業務を始める。
- ・問い合わせ等は、今後この新たな相談窓口で受ける。職員各位も村民から尋ねられた場合には、こちらの窓口を案内していただきたい。
- ・事務所スタッフを募集している。

○生坂村脱炭素先行地域づくり事業の進捗状況について

- ・平林建設は県内外で野立て太陽光発電を 300 か所以上、民家等への太陽光発電設置は 200 か所以上の実績がある。生坂村に合った設備設計を行いたい。
- ・エコロミから村づくり推進室に順次、各事業の下請け業者等を紹介している。特に小水力発電については、松本建設事務所、千曲川河川事務所と調整を進めており、概ねスケジュール通りに進んでいる。
- ・木質バイオマス関係について、合同会社ラーチアンドパイン（伊那市）は今後、毎週木曜日に来村する。年内までに活用できる量を確認したうえで、山仕事創造舎で切り出しの可否について確認し、やまなみ荘に導入するチップボイラーの検討、民家への木質バイオマス導入、外部からの材の確保、村内林業の構築について検討していきたい。
- ・マイクログリッドについて、中部電力パワーグリッドとのやり取りは現時点ではない。設備設計が終了後、11 月頃に次回打ち合わせを行う予定。
- ・19 日の打ち合わせで対象施設の変更の提案があったので、検討したい。自営線マイクログリッド事業について、環境省地域版GX 交付金の要件である民間施設率 50%以上を満たさない可能性がある。中部地方環境事務所とも協議するが、民間施設の数減らして公共施設を増やすことも可能。交付金の枠は既に確保されていることから、対象施設に修正を加える可能性がある。
- ・21 日まで公共施設の電力計測を実施した。マイクログリッドの対象施設を変更する場合、追加施設は夏場の電力計測ができていない。最も電力消費する冬場に再度 1 月に計測するのでご協力いただきたい。
- ・小水力発電について、3 社（エコロミ、平林建設、三井三池製作所）で設計する予定だったが、平林建設から新たに工法の提案があり、専門の設計業者を調達する予定。当初、渇水期の 2 年間（8 カ月）に工事を実施する予定で、いくぶん余裕のあるスケジュール感の変更案になっており、東京電力も悪く言わないのではないかと思う。
- ・EV シェアリングについて、公用車使用状況の確認や運行日誌が現時点でそろっていないため、紙のフォーマット（住民課版ベース）を配る。10/1 から 2

か月間、村営バスも含め全車両で記録をつけてもらう。

- ・古民家脱炭素リノベーションについて、9月は未着手。来年度からの実施に向けて専門家から意見をいただきながら、対象の建物や場所を決めていきたい。
- ・10月からエコロミ社員が3名ほど来る。各施設に入らせていただくが、怪しいものではないことが分かる表示をする。
- ・やまなみ荘について、住民課長とボイラーの設置場所を検討した。旧浄化槽に設置する案、マレットゴルフ場に設置する案のどちらかだが、チップ搬入のトラックが入るため安全性を考慮して、マレットゴルフ場に設置する方向で検討している。ボイラーの機種選定がこれからだが、コンテナが多く必要になるので、近くの大きな木を切る必要があると考えている。
- ・村内でチップを供給できれば問題ないが、そうでない場合、近隣でチップを供給できる体制が構築できるか不透明。構築体制が難しい場合は、破砕チップも視野に入れて検討する。ラーチアンドパインによる確保できる材の量の確認、山仕事創造舎による材の切り出し可否の確認、ボイラーの導入機種等が固まったところで判断したいと考えている。
- ・タイトなスケジュールなので、村民に事業内容を明確に説明して、早い段階で調査等に取り組んでいきたい。設計業務をスムーズに進められるようにしたい。

○松本山雅及び飯田市による赤とんぼフェスティバルへのブース出展について

- ・「いいだEVヤキニク」を生坂村でできないかと、松本山雅と飯田市で協議している。松本日産にも協力いただき松本山雅のラッピングリーフを持っていきたい。キッチンカーを持って来られるか未定だが、できる限り準備と対応をしたい。
- ・飯田市は第2回脱炭素先行地域。共同提案者である松本山雅と協力して、効果促進に取り組んでいきたい。

○株式会社いくさかてらすによる PPA 事業について

- ・ 民家 PPA 意向調査の集計結果は、9 月中をめどに集計。
- ・ 公共施設 PPA は、所管各部署で追って対応したい。
- ・ オフサイト PPA については区長へ 10 月に説明、11 月には各区での説明会を行う予定。

○オンサイト PPA 事業に向けた民家個別訪問による現況調査等について

- ・ PPA 意向調査の集計中。現時点での手ごたえとして「希望する」「希望しない」よりも「分からない」という回答が多かった。今後、個別訪問を行い、村民の理解促進を行っていきたいと考えている。